

4月 光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2022年4月号>

178号 2022.04.01 配信

この2年間、コロナ感染を意識せずにいられない毎日を過ごしてきました。その中でも新しい生活を受け入れ、工夫し、希望を繋いできました。今年、さらに暗く気持ちが塞がれる出来事が起こりました。多くの人々が戦渦に巻き込まれ、家族を守りながら必死に生きています。同じ時間、同じ地球に生きる人間が、何故このような歴史を作ってしまうのでしょうか。昭和女子大学は創立者人見圓吉先生の時代から様々な国から夢と希望を持って学ぶ学生たちを受け入れ、世界で活躍する同窓生を輩出しています。まもなく10万人になる同窓生おひとりお一人が、穏やかな春を迎えていらっしゃることを心から願います。

■同窓会だより

◆近隣支部長意見交換会

3月12日(土) 13:00~14:30 (参加者10名)

東京6支部と近県(千葉・埼玉・神奈川)の支部長から現状を伺い、今後の課題などを出していただき、意見交換を行った。

◆光葉同窓会入会式

3月16日卒業式に引き続き、光葉同窓会入会式が行われました。1,607名の新しい同窓生が誕生し、卒業生は延べ99,998名となりました。

◆卒業式に全国支部会からの祝電

全国の34支部から温かいメッセージをいただきました。

◆2022年度 第1回 ワーキングネットワーク委員会

日時: 4月23日(土) 12:30~13:30

会場: 大学10号館5階 光葉同窓会研修室

◆2022年度 全国支部長会

日時: 5月14日(土) 11:00~12:30

会場: 学園本部館3階大会議室(対面とオンラインで開催)

◆第49回 光葉同窓会総会

日時: 5月15日(日) 11:00~12:30

会場: 学園本部館3階大会議室(対面とオンラインで開催)



(大学8号館グローバルラウンジに掲示)

■学園だより

◆令和4年度入学式 人見記念講堂 (式典の映像を同時配信の予定)

日時: 4月2日(土) 開式 10:00 人間文化学部・グローバルビジネス学部・人間社会学部

開式 13:00 大学院・国際学部・環境デザイン学部・食健康科学部

◆管理栄養士国家試験で合格率100%達成!

第36回管理栄養士国家試験が実施され、3月25日に合格発表がありました。

受験した管理栄養学科の学生73名が全員合格し、国家試験合格率100%を達成しました。

◆昭和デジタルスクエア (SDS) コワーキングスペース・スタートイベント

日時：4月23日(土) 14:00~17:00

場所：昭和デジタルスクエア(大学10号館1階) Lounge 1,2

*参加ご希望の方は、sds-toiwase@swu.ac.jpへメールでお申込みください。

■広げよう光の葉

TEE XIN YEE さん

2020年グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科卒

「日本語を話せるようになりたいからです。」と、日本に留学した理由を聞かれる度に、このように答えていました。もっと立派な理由を考えるべきだったかもしれませんが、当時、まだ中学生だった自分は純粋に「日本語が綺麗な言葉だ」と感心して語学を始めました。その後、偶然に通っていた日本語学校に留学プログラムが用意されており、海外生活の体験もできるといいねと軽い気持ちで留学の道に踏み出しました。思えば、目標や将来のことも考えずに無謀な決断だったでしょうが、当時の自分に与えられた選択肢の中、一番面白い選択でした。

日本に来てから自分でも驚くような、過去には考えもしなかった多くの事を経験することができました。例えばアルバイトをした事、他の留学生と友達になり、ルームメイトになって集団生活をした事、一人で計画も立てずに海外旅行に行ってしまった事…元々1年間滞在する予定だったものの、このように自立できる生活を手離せず、留学期間を2年間に延長し、その後、更に大学受験もチャレンジしてみました。その結果、卒業後も帰国せず日本で就職、東京で生活し続けています。全く予想外な人生展開でした。

昭和女子大学に入学した経緯も、実は厳密な計画があったわけでもなく、偶然の出会いがきっかけでした。日本語学校に在学していた時、留学生でも大学の授業を履修できるプログラムの説明会に参加しました。当時は卒業後、帰国を予定していたのですが、せっかくの機会だから参加してみようかと思い、英語コミュニケーション学科に科目履修をしました。当時は授業履修の他、大学が主催する留生活活動などを通じて国際交流センターの職員や他学科の先生と交流したり、今後の進路に関して相談したりする機会も多くありました。それらの経験から、自分の視野が広がって生活が豊かになったと実感し、将来は無限な可能性があると感じました。それを機に初めて日本で進学することを考え始め、最終的には昭和女子大学に入学しました。

その後も、予想外な展開が多くありました。例として、英語を話すことを恐れていて、一生米国に行くことはしないだろうと思っていたものの、学科の履修科目としてボストンに留学することができ、現地にいた頃、先生と共に学科新聞を制作したり、日本に戻った後も、「Hult Prize(ハルトプライズ)」という米国発のコンテストに昭和女子大学として初めて参加したり、テンプル大学の授業を履修したりしました。

今までの人生を振り返ると、重要な決定を行う時に軽率なところもあっただろうが、考えすぎずに目の前に与えられたチャンスを掴むことで、結果的に人生は面白い展開になりました。そして、自分の選んだ道に向けて歩む時には、常に最善を尽くし、途中で出会った人々との関係を大切にすることも重要でしょう。それで、次から次へ新しい出会いに繋がる機会も得られ、そうしていくうちに人生も広がるでしょう。

【End】